

リョーサン菱洋グループ 熊野古道道普請(2024)

菱洋エレクトロは、和歌山県が主催する世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」の保全と活用を図る「10万人の参詣道環境保全活動」の趣旨に賛同し、2019年から「熊野古道道普請ウォーク」に参加しています。この道普請は、和歌山県の指導のもとで行われますが、市民が世界遺産の保全に参加できる日本で唯一のプログラムです。いにしへの信仰の道を自らの手で保全し後世に伝えるこの活動は、まさにサステナブルな社会貢献活動です。2024年「紀伊山地の霊場と参詣道」は世界遺産登録20周年を迎えました。

今回、リョーサンとの経営統合により、リョーサン菱洋グループとしてこの活動を継承しました。11月7日(木)～8日(金)の2日間、グループの総勢40名がこの活動に参加しました。1日目は、世界遺産センター研修後、熊野古道中辺路三軒茶屋跡周辺で補修土1.5トンを用いて道普請を行ないました。午前は中辺路牛馬童子から近露王子の約1.3kmを語り部の話に耳を傾けながら、また、午後は道普請場所から熊野本宮大社・聖地大斎原まで約2.6kmをウォーキングしました。2日目は、世界遺産「川の参詣道」熊野川に沿って新宮市の熊野速玉大社を訪れ、続いて大辺路を辿り熊野那智大社、青岸渡寺、飛滝神社(那智滝)、串本橋杭岩など熊野の史跡と自然に触れました。リョーサン菱洋グループは、今後もこのサステナブルな社会貢献活動を継続してまいります。

1. 世界遺産センター研修



2. 道普請(三軒茶屋跡付近)



3. 道普請の作業



4. 熊野古道ウォーキング



＜語り部さんの説明＞



＜箸折峠 牛馬童子像＞

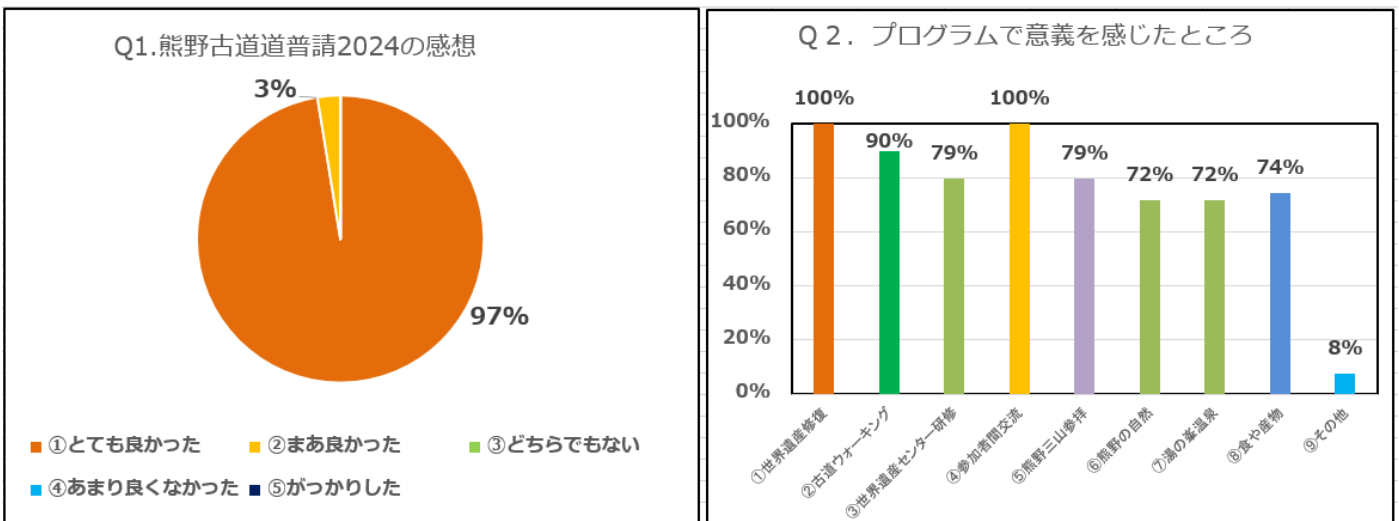


＜紀州徳川家の普請＞



＜熊野本宮大社＞

5. 参加者アンケートの結果



6. 参加者の感想

参加者からは、熊野の自然の素晴らしさ、世界遺産保全の意義の理解、道普請の作業を通じて得られるチームの一体感、個人の達成感・誇り・喜びなどの感想が寄せられました。個々のコメントは以下をご参照ください。

- ・熊野の自然と歴史が豊かに息づくこの地で、道普請を通じて、地域の美しさを守る一助となれたことを誇りに思います。熊野古道が、多くの人々の祈りや思いが込められた特別な場所であることを知り、深く感銘を受けました。
- ・熊野の文化や自然に出会えたことが何よりとても素晴らしいと思いました。道普請を終えて活動に参加した自分が少しだけ誇らしいと感じています。

- ・熊野古道は、スペインのサンティアゴ・デ・コンポステーラとともに世界遺産登録されている巡礼の道。道普請が世界遺産の維持管理に大きな役割を果たしていることを認識しました。
- ・道普請は、自身の体を動かし、皆で協力して、1つの事を成し遂げ、互いに褒めたたえる、まさに、リョーサン菱洋グループ行動指針「貢献、協働、賞賛」の実践で有意義な活動でした。
- ・道普請の作業中、古道を行く参詣者から「ご苦労様です」と声を掛けていただき大変嬉しかった。
- ・グループの一員として作業を通じてチームワークを体験し達成感を味わうことができました。この学びや気づきを、今後の仕事や日常生活に生かし、環境保護や社会貢献に積極的に取り組んでいきたい。
- ・自分たちが運んだ土によって祈りの道が守られていくことに達成感や誇らしさを感じました。リョーサン菱洋グループの一員としてこの活動に参加できたことを心から嬉しく思います。
- ・経営統合した2つの会社のメンバーが協働し交流することでお互いの絆が深まり、非常に貴重な体験となりました。



＜熊野古道 中辺路＞



＜大斎原 大鳥居＞



＜那智大門坂＞



＜那智滝＞



＜串本 橋杭岩＞

7. その他

- ・和歌山県 世界遺産を守る 10万人の参詣道「環境保全」活動の詳細はこちら
リンク先 <http://www.sekaisan-wakayama.jp/protect/fifth.html>
- ・[和歌山県世界遺産センターホームページ内ブログ「リョーサン菱洋ホールディングス株式会社【道普請】2024/11/7」](#)
- ・リョーサン菱洋ホールディングス CSR 部 お問い合わせ：rr-hds-csr@rr-hds.co.jp